

川口原（せいた） 藤原（ふじはら） 明治二十一年生れ（ハルハル）。長野の女學校を卒業
し、上京して母親と下宿屋を営む。のち神田の美術店の勤務し、自ら
畫筆を執り、作歌にも及んだ。

著書 口青靴小説集・第一「合著・青靴社編、大正二年二月、千五百
頁（表裏）等。